



日本実験動物技術者協会第47回総会 in 晴れの国岡山

ご案内

会 期：2013年9月27日（金）・28日（土）
会 場：学校法人川崎学園（川崎祐宣記念講堂・川崎医療福祉大学・
川崎医科大学現代医学教育博物館）
〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288
大会長：武智 真由美（島根大学研究機構総合科学研究支援センター
実験動物部門）
大会HP：<http://www.jaeat-kansai.org/harenokuni2013.html>
大会事務局：〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門
TEL 086-235-7445・7446 FAX 086-235-7433
e-mail jaeat2013@md.okayama-u.ac.jp

1. 参加者の方へ

◇受付

受付は、9月27日（金）、9月28日（土）ともに8：45より川崎祐宣記念講堂2階ロビー受付にて行います。

事前登録された方は、講演要旨集に同封されたネームカードに所属・氏名をご記入の上、事前登録受付にてご提示下さい。ネームホルダー等をお渡しいたします。

当日登録の方は、記名台備え付けの参加受付票にご記入の上、当日登録受付にて参加費を納入し、ネームカード、ネームホルダー、講演要旨集等をお受け取り下さい。また、懇親会に参加を希望される方は懇親会費を納入して下さい。学生の方は、受付の際、学生証のご提示をお願いします。

ネームカードの裏面が領収書となりますが、別途必要な方は、9月27日（金）・28日（土）両日とも11：00から12：00の間に総合受付にて発行いたします。

一旦納入された大会参加費および懇親会費は返却できません。予めご了承下さい。

会場内では、必ずネームカードを着用して下さい。着用されていない場合は入場できません。

◇総会参加費（講演要旨集代を含む）

当日登録：会員 8,000円・非会員 10,000円・学生 4,000円

講演要旨集のみを希望の方は1冊 2,000円にて販売いたします。

◇懇親会

日 時：9月27日（金） 19：00～21：00

場 所：倉敷アイビースクエア <http://www.ivysquare.co.jp/>

〒710-0054 岡山県倉敷市本町 7-2 TEL：(086) 422-0011(代)

参加費：8,000円（学生 5,000円）懇親会会場受付にてネームカードを確認いたしますので、必ずご提示下さい。

◇教育セミナー1・2

各会場前に設置する「教育セミナー受付」にてお申し込み下さい。ただしいずれのセミナーも別途会期中に開催される実技講習会の関連企画として、あらかじめ講習会の受講申し込みをされた方を優先いたします。定員に達した場

合、お断りすることがありますので、ご承知おきください。

◇ランチョンセミナー

ランチョンセミナーは、各開催期日の8:45より総合受付横にてセミナー開催者が参加券を配布いたします。なお、参加券は数に限りがございますので、先着順になります。定員になり次第、終了させていただきますので、予めご了承ください。

◇一般演題番号の表記について

口頭発表の演題番号は、O-01～37、ポスター発表の演題番号は、P-01～43と表記しました。

◇ポスター発表について

ポスター会場はF会場・川崎祐宣記念講堂1階ロビーおよび多目的ホールです。ポスターの掲示期間は、9月27日（金）10:00から9月28日（土）12:00までといたします（設営は9月27日（金）9:00～10:00）。

9月28日（土）11:30から12:00まで、フリーディスカッションのコアタイムを設定いたします。

◇実験動物関連機具・器材、書籍等の展示

F会場・川崎祐宣記念講堂多目的ホールにて各企業による機器展示を行います。また記念講堂1階ロビーでは書籍の展示も行いますので、ふるって足をお運び下さい。

◇撮影・録音行為について

展示ホールを含め、会場内は主催者の許可のない撮影・録音行為を禁止いたします。無許可の撮影・録音行為があった場合は、大会スタッフが記録媒体からのデータの消去等しかるべき措置を取らせていただきます。ただしポスター発表については、発表者の許可を得た場合に限り、写真撮影によって発表内容を記録できるものとします。

何卒、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

◇呼び出し

講演会場内での呼び出しは行いません。総合受付の案内板をご利用下さい。

◇携帯電話のご使用について

会場内での携帯電話の使用はご遠慮下さい。会場内ではマナーモードに設定するか、電源をお切り下さい。

◇駐車場について

大会専用の駐車場はございません。大学構内の駐車場は川崎医科大学附属病院の患者さん・お見舞いの方のためのものですので、なるべく公共交通機関をご利用ください。やむを得ずお車でお越しの方は、会場周辺の有料駐車場をご利用下さい。

◇敷地内全面禁煙にご協力をお願いします

大学敷地内は屋内・屋外を含め全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

2. 特別講演、教育講演、シンポジウムの演者の方へ

◇発表準備および発表方法

液晶プロジェクターによるPC発表のみです。ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは会場で用意いたしますが、ご自身のノートパソコンをお持ちいただいても結構です。

大会本部で用意するノートパソコンは、Windows PCです。使用アプリケーションはPowerPoint2010の予定です。

Macintosh をご利用になりたい方は、プロジェクターに出力できるコネクタをご持参下さい。

お持ち込みいただけるメディアは、USB フラッシュメモリのみです。フロッピーディスクや CD、MO は受け付けておりませんのでご注意ください。

3. 一般演題口頭発表者の方へ

◇発表準備および発表方法

液晶プロジェクターによる PC 発表のみです。

ノートパソコンおよび液晶プロジェクターは大会本部で用意いたします。用意するノートパソコンは、Windows PC で、使用アプリケーションは PowerPoint2010 のみの予定です。Macintosh はご利用できません。

お持ち込みいただけるメディアは、USB フラッシュメモリのみです。フロッピーディスクや CD、MO は受け付けておりませんのでご注意ください。USB フラッシュメモリには発表データのファイルのみを保存していただき、ファイル名は講演番号と発表者名を記載下さい。例) O-01 岡山太郎

◇発表用データ受付

演題番号 O-01 ~ 06 (9月27日 10:00 ~ 11:10 C会場)の方は当日の午前9時20分までに、O-07 ~ 19 (9月27日 15:30 ~ 18:00 B会場)の方は当日の午後1時までに、それ以外の方は9月27日中に、総合受付のPC受付スタッフにUSBフラッシュメモリにて発表用ファイルをお渡し下さい。ファイルをパソコンにコピー後、USBフラッシュメモリはその場で返却します。

ご発表終了後、大会事務局が責任を持ってお預かりした発表用ファイルをすべて消去いたします。

◇データ作成時の注意点

フォントは文字化けを防ぐため、下記のフォントにて作成して下さい。

日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝

英語：Century、Century Gothic、Times New Roman

◇動画その他データを使用する場合

発表時の誤作動の原因になることもありますので動画やアニメーションは、できるだけ使用を避けて下さい。やむをえず動画データを使用する場合は、発表データ受付の動作確認用のPCにて発表データの確認を必ず行って下さい。

発表データに他のデータ(静止画・動画・グラフ等)をリンクさせている場合は、必ず他のデータも保存していただき、事前に動作確認をお願いいたします。

◇発表時間

予定発表時刻の10分前もしくは前の演者の発表が始まったら次演者席にご着席ください。

発表時間は口演8分、質疑応答2分の計10分ですので、時間厳守をお願いいたします。発表時間終了1分前に予鈴(1回)、8分を過ぎると予鈴(2回)、10分の持ち時間終了時に本鈴(3回)でお知らせいたします。予定時間を超過する場合は途中で中断していただくこともありますので、ご注意ください。

4. 座長の方へ

担当セッションの15分前までに、次座長席にご着席下さい。活発な討論が行われますよう、進行の程、よろしくをお願いいたします。

以降のセッションに影響が出ないよう時間厳守をお願いいたします。

5. 発言者の方へ

発表に対する質疑は、座長の許可を得た後、フロアのスタンドマイクで所属と氏名を述べてから発言して下さい。座長の指示に従わない場合には退席していただきます。

6. ポスター発表の方へ

◇発表方法

フリーのプレゼンテーションおよびディスカッションとします。座長は設けませんので、ポスター掲示期間に随時参加者に対してプレゼンテーションおよびディスカッションをしてください。また9月28日11:30～12:00をポスターディスカッションのコアタイムとしますので、ポスター発表者の方はこの時間帯は必ずポスターの前で待機してください。

ポスター発表会場はF会場・川崎祐宣記念講堂1階ロビーおよび多目的ホールです。ポスターの掲示期間は9月27日(金)10:00から9月28日(土)12:00までといたします(設営は9月27日(金)9:00～10:00)。

掲示期間 9月27日(金)10:00～17:30

9月28日(土)9:30～11:30

掲示準備 9月27日(金)9:00～10:00

コアタイム 9月28日(土)11:30～12:00

撤去作業 9月28日(土)12:00～14:00

※9月28日14:00以後に掲示されているポスターは、総会本部にて処分させていただきます。

◇ポスター作成要項

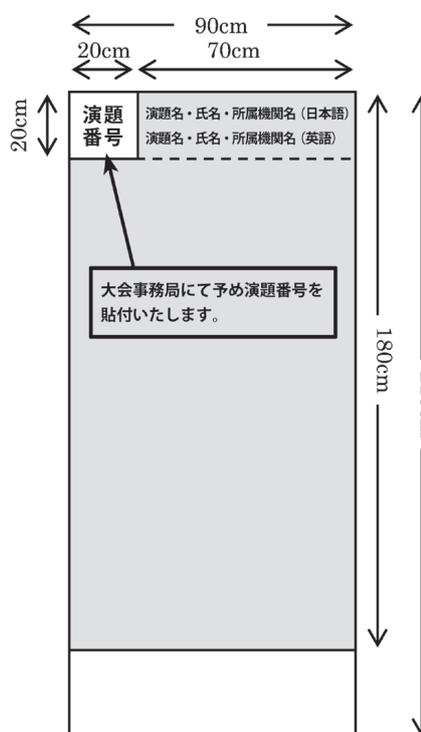
1 演題あたり、縦210cm×横90cmのポスターボードを用意いたします。ポスターは上から180cm以内で使用してください。

最上段左側に演題番号札(20cm×20cm)が入りますのでこの部分は空けてください。

演題名、発表者名(発表者の前に○印)、所属機関名を上部に記載してください。海外からの参加者にも配慮して、演題名と発表者名は和文と英文で表記してください。

本文の文字は離れた位置からでも十分読み取れる大きさにしてください。(文字の大きさは16ポイント以上、ゴシックフォント、また、全体として字間を詰めて行間を空けることを推奨します。)

演題番号札、掲示用チェスピンは各ポスター発表会場を用意いたします。ガムテープ、両面テープは使用しないでください。



交通案内



JRでお越しの方

新幹線上り・下りとも岡山駅で下車し、JR 山陽本線もしくは伯備線（下り・倉敷方面）に乗り換え。中庄駅で下車し、徒歩約 15 分、駅前タクシー利用で 3 分
バス（岡山駅・天満屋バスセンター行き）に乗車、「川崎医大前」で下車（約 3 分、運賃 160 円）
※ JR 中庄駅には快速・特急は停車しません。普通電車にご乗車ください。
※ 山陽新幹線新倉敷駅は、各駅停車のひかり号・こだま号しか停車しないため、不便です。

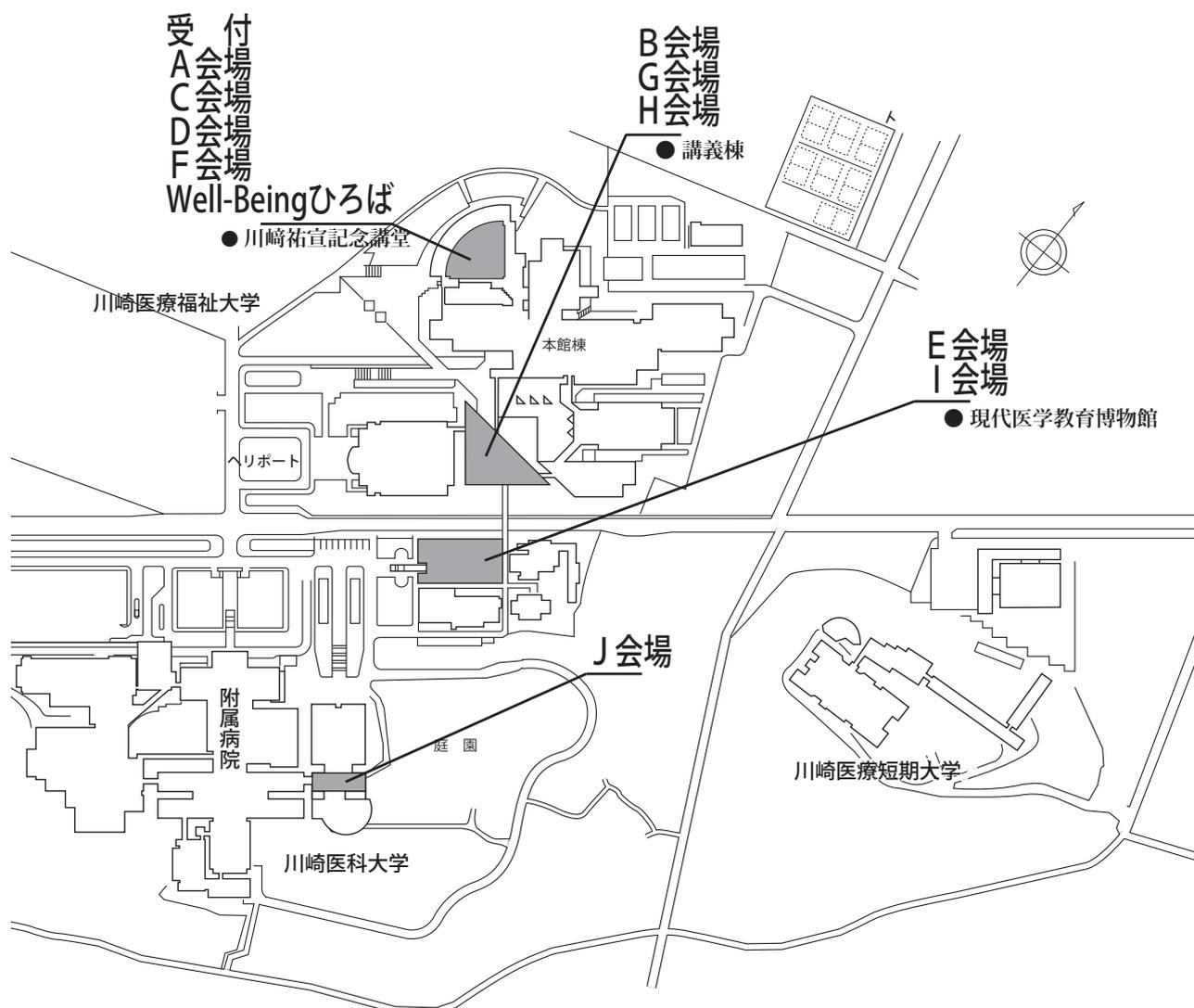
飛行機でお越しの方

- ・岡山空港から岡山駅行きリムジンバス乗車（所要時間 30 分～ 40 分・¥740）
岡山駅から JR 山陽本線（下り・倉敷方面）中庄駅下車
- ・岡山空港から倉敷駅行きリムジンバス乗車（所要時間 35 分・¥1100）
倉敷駅から JR 山陽本線（上り・岡山方面）中庄駅下車

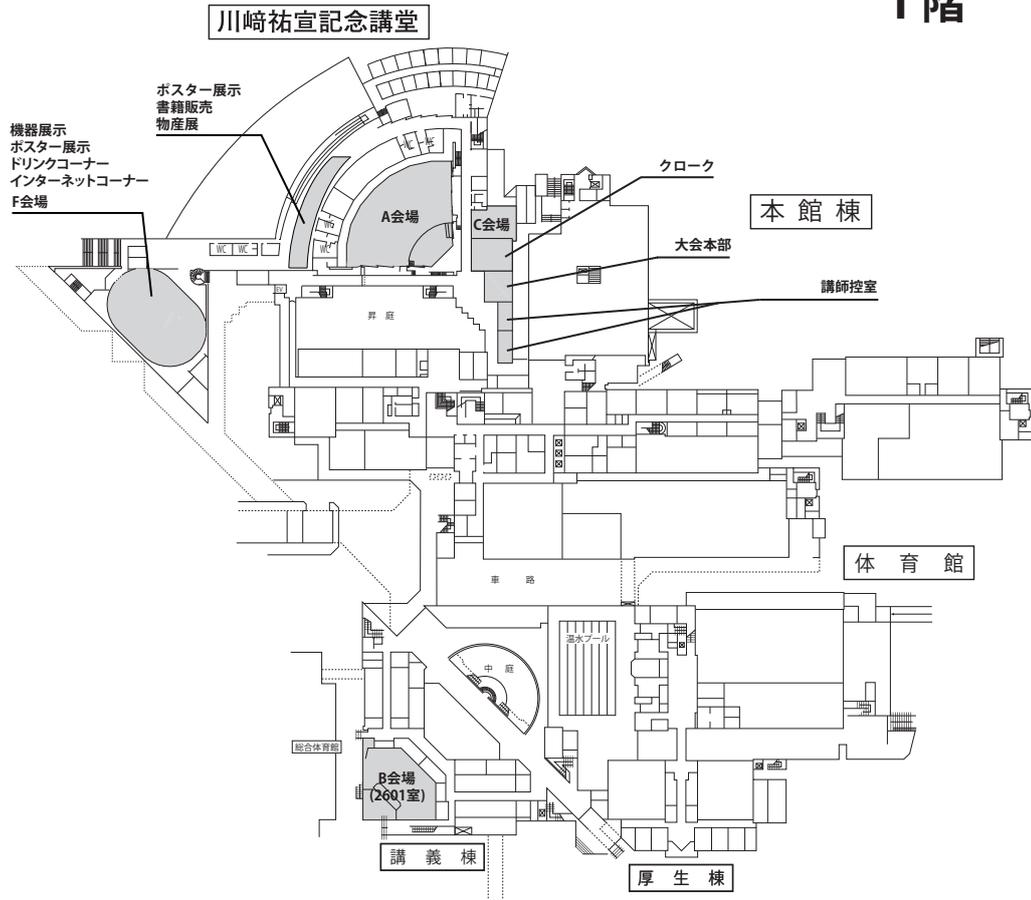
お車でお越しの方

山陽自動車道 倉敷 IC から約 15 分
瀬戸中央自動車道 早島 IC から約 15 分
※ 会場の駐車場は患者さんやお見舞いの方の専用駐車場です。周辺の有料駐車場をご利用下さい。

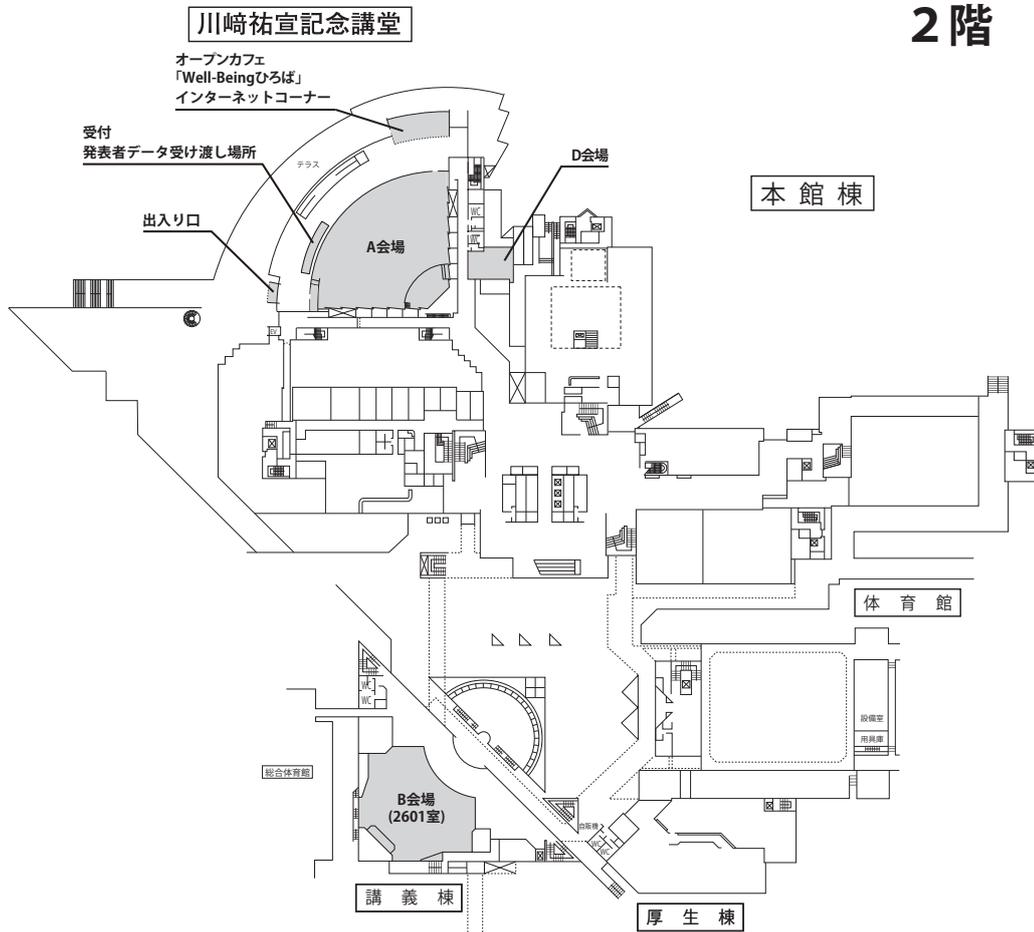
会場案内図



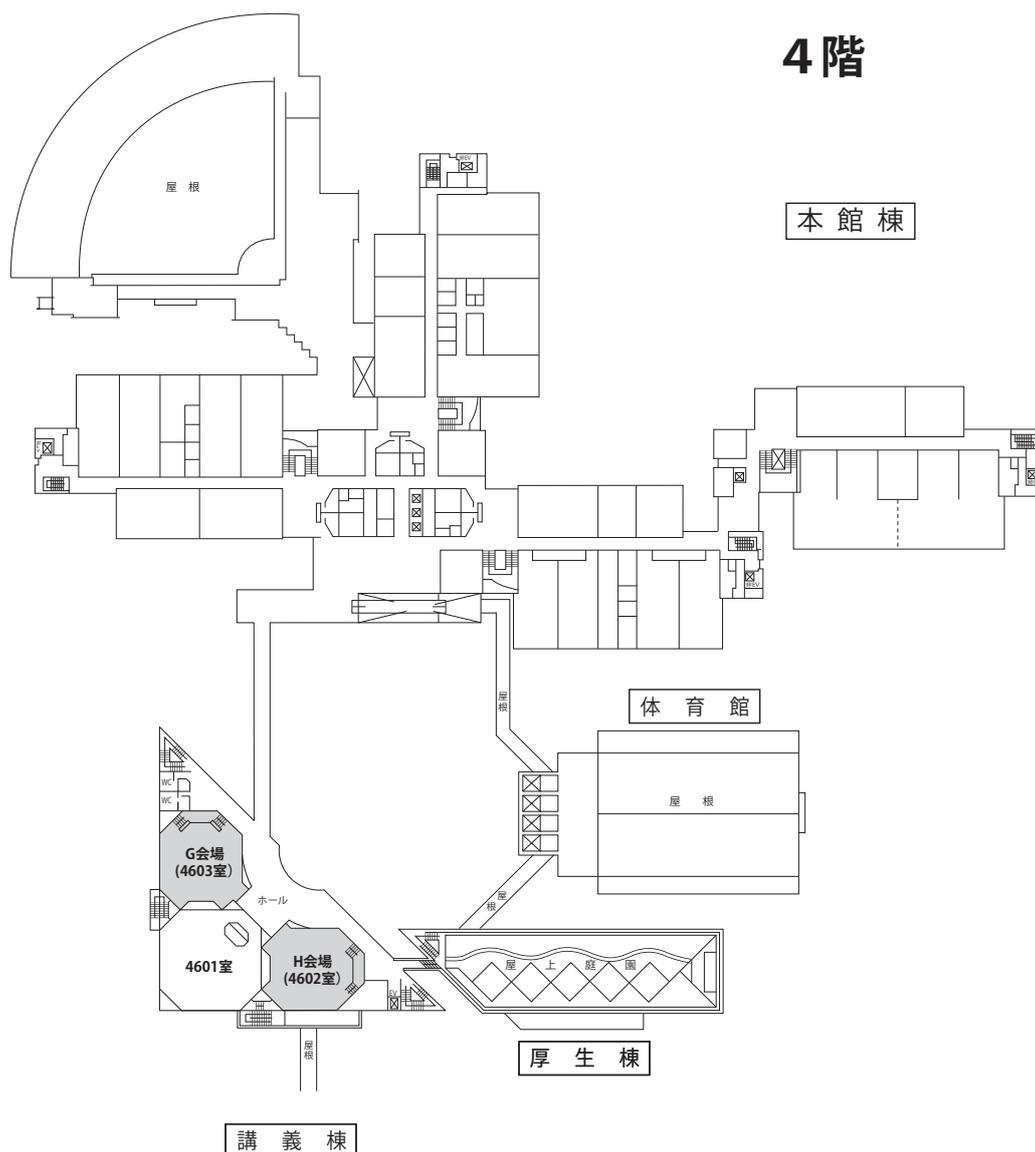
1階



2階



4階



おことわり

- E会場（現代医学教育博物館 3階小講堂／9月27日 11:45～12:45 評議員会）
- I会場（現代医学教育博物館 5階実習室／9月28日 9:00～11:15 実技講習会1）
- J会場（川崎医科大学動物実習室／9月28日 13:30～15:00 実技講習会2）

● 上記3会場はいずれも大学関係者以外の立ち入りが一部制限されている建物・区域にあるため、案内図の掲載は控えさせていただきます。

● 移動の際は大会スタッフの誘導・案内に従っていただきますようお願いします。



タイムテーブル

9月27日(金)							
	A会場 記念講堂	B会場 医療福祉大学 大講義室2601	C会場 記念講堂 1F第2会議室	D会場 記念講堂 2F会議室	E会場 博物館小講堂	F会場 記念講堂 多目的ホール	記念講堂 ラウンジ
8:00							
9:00	8:45～ ロビー 受付開始					9:00～ 10:00 ポスター 準備	
10:00	9:20 開会 9:30～10:30 教育講演 細胞の多様性を決める仕組みー眼の再生医療に向けて		10:00～11:10 一般演題 O-1～O-6				
11:00	10:30～11:30 特別講演 痛みと鎮痛の基礎知識						
12:00			11:45～12:45 ランチョン セミナー1	11:45～12:45 ランチョン セミナー2	11:45～12:45 評議員会		9:00～16:30 実技協本部企画 Well-Being ひろば ～動物福祉向上のために～ オープンカフェ
13:00	13:00～14:00 教育セミナー1 世界のマウスバンクの現状と生殖工学技術の応用	13:00～14:00 教育セミナー2 げっ歯類における処置馴化の手順と注意点				9:00～ 17:00 器材展示	
14:00	14:00～15:30 第47回総会 各賞表彰式 業界アワード 研究奨励賞 受賞講演					10:00～ 17:30 ポスター 展示	
15:00							
16:00	15:30～16:30 岡山特別セミナー エキゾチックペットの臨床	15:30～18:00 一般演題 O-7～O-19		15:30～17:00 編集部・査読委員会 合同会議			
17:00	16:30～18:00 シンポジウム1 どうする？実験動物福祉の実践 日本実験動物医学会共催						
18:00							
19:00							
20:00							19:00～21:00 懇親会 倉敷アイビースクエア (バス移動)
21:00							

9月28日(土)

	A会場 記念講堂	G会場 医療福祉大学 講義室4603	H会場 医療福祉大学 講義室4602	I会場 博物館実習室	J会場 医科大学 動物実習室	F会場 記念講堂 多目的ホール	記念講堂 ラウンジ	
8:00								
9:00	9:00~11:00 シンポジウム2 これからの技術者 教育について 考える	9:00~10:30 一般演題 O-20~O-27	9:00~10:50 一般演題 O-28~O-37	9:00~11:15 実技講習会1 生殖工学技術		9:00~ 11:30 ポスター 展示	9:00~ 12:00 器材展示	9:00~12:00 実技協本部企画 Well-Being ひろば ~動物福祉向上の ために~ オープンカフェ
10:00								
11:00	11:00~12:00 記念講演 動物実験を通して 初めて明らか になる事					11:30~12:00 ポスター ディスカッ ション		
12:00		12:00~13:00 ランチョン セミナー3	12:00~13:00 ランチョン セミナー4					
13:00								
14:00	13:10~15:10 本部企画 シンポジウム 動物実験における 実験結果の信頼性 を確保するために 一統御の重要性の 再考ー				13:30~15:00 実技講習会2 マウスの取り扱 い：処置馴化およ び基本手技(投 与・採血)			
15:00	15:20~閉会							
16:00								
17:00								



日本実験動物技術者協会第47回総会 in 晴れの国岡山

総合プログラム



特別講演

9月27日(金) 10:30～11:30 A会場

座長 武智 真由美 (島根大学)

「痛みと鎮痛の基礎知識」

小山 なつ (滋賀医科大学・生理学)

記念講演

9月28日(土) 11:00～12:00 A会場

座長 小郷 哲 (川崎医科大学)

「動物実験を通して初めて明らかになる事」

大内 正信 (川崎医科大学名誉教授・微生物学)

教育講演

9月27日(金) 9:30～10:30 A会場

座長 古川 敏紀 (倉敷芸術科学大学)

「細胞の多様性を決める仕組み——眼の再生医療に向けて——」

大内 淑代 (岡山大学・細胞組織学)

シンポジウム 1

9月27日(金) 16:30～18:00 A会場

座長 黒澤 努 (AAALAC International)
小木曾 昇 (国立長寿医療研究センター)

「どうする？ 実験動物福祉の実践」(日本実験動物医学会 共催)

1. 動物実験における人道的エンドポイント 中井 伸子 (日本新薬株式会社)
2. げっ歯類の安楽死 鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)
3. 実験動物(小動物)における環境エンリッチメントの実践について 渡邊 利彦 (株式会社中外医科学研究所)

シンポジウム 2

9月28日(土) 9:00～11:00 A会場

座長 大和田 一雄 (山形大学)
北 徳 (倉敷芸術科学大学)

「これからの技術者教育について考える」

1. 大学における実験動物技術者教育を考える ～岡山大学における実験動物技術者の能力賦活化策の実際～ 樺木 勝巳 (岡山大学)
2. 実験動物技術者受験資格認定校からの提言、問題提示 ——動物実験学教育とは何か—— 古本 佳代 (倉敷芸術科学大学)
3. 企業からの提言～企業における動物管理部からの問題提示～ 東山 昇 (株式会社大阪ビル管理)

本部企画
シンポジウム

9月28日(土) 13:10～15:10 A会場

座長 加藤 秀樹 (浜松医科大学)
中野 洋子 (アステラス製薬株式会社)

「動物実験における実験結果の信頼性を確保するために — 統御の
重要性の再考 —」

1. Russell と Burch が提唱した演出型と統御 加藤 秀樹(浜松医科大学)
2. 飼育環境統御の重要性 — ハード・ソフト両面から — 小山内 努(元 北海道大学)
3. 感染症統御 高倉 彰(公益財団法人実験動物中央研究所)
4. 動物実験の再現性を確保するための遺伝統御 吉木 淳(理化学研究所バイオリソースセンター)

岡山特別セミナー

9月27日(金) 15:30～16:30 A会場

座長 坂本 雄二 (千寿製薬株式会社)

「エキゾチックペットの臨床 ～ウサギ、げっ歯類、鳥類、爬虫類、両
棲類の診療の実態～」

霍野 晋吉 (エキゾチックペットクリニック / 日本獣医生命科学大学)

教育セミナー 1

9月27日(金) 13:00～14:00 A会場

「世界のマウスバンクの現状と生殖工学技術の応用」

中潟 直己 (熊本大学生命資源研究・支援センター
動物資源開発研究部門 (CARD)・資源開発分野)

教育セミナー 2

9月27日(金) 13:00～14:00 B会場

「げっ歯類における処置馴化の手順と注意点：教育現場での効果」

根津 義和 (第一三共株式会社)

実技講習会 1**9月28日(土) 9:00～11:15 I会場**

「生殖工学技術」

中潟 直己 (熊本大学生命資源研究・支援センター
動物資源開発研究部門 (CARD)・資源開発分野)**実技講習会 2****9月28日(土) 13:30～15:00 J会場**

「マウスの取り扱い：処置馴化および基本手技（投与・採血）」

根津 義和 (第一三共株式会社)

総 会**9月27日(金) 14:00～15:30 A会場**

「第47回日本実験動物技術者協会総会」

1. 総会
2. 各賞表彰式
3. 業界アワード
4. 研究奨励賞受賞講演

**本部企画
オープンカフェ****9月27日(金) 9:00～9月28日(土) 12:00
記念講堂ラウンジ**

「Well-Beingひろば」～動物福祉向上のために～」

実験動物福祉委員会では、皆さんの施設での動物福祉に関する悩みや取り組みを共有できる場として、オープンカフェを開くことにいたしました。このカフェを、皆さんが持ち寄った現場での悩みや取り組みについて、

☆一緒に考え ☆解決の糸口になる情報や人を紹介できる ☆実績を評価・発展させる
「交流の広場」にしたいと思います。

ランチョンセミナー**9月27日(金)・28日(土)**

詳細が決定次第、大会 HP または講演要旨集でお知らせします。



一般演題

口頭発表

9月27日(金)	10:00 ~ 11:10	C会場
	15:30 ~ 18:00	B会場
9月28日(土)	9:00 ~ 10:30	G会場
	9:00 ~ 10:50	H会場

ポスター発表 (コアタイム)

9月28日(土)	11:30 ~ 12:00	F会場 記念講堂1階ロビー
----------	---------------	------------------

口頭発表

管理・施設

9月27日(金) 10:00～10:35 C会場

座長 高橋 智輝 (岩手医科大学)

- O-01 東日本大震災・原発事故後における復興事業 1. 復興プロジェクトで重要な役割を果たす実験動物
○片平 清昭¹、関口 美穂²
1 福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルセンター 創薬関連部門、
2 福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設
- O-02 東日本大震災・原発事故後における復興事業 2. 復興プロジェクトで期待される実験動物技術者の課題
○関口 美穂¹、若井 淳¹、片平 清昭²
1 福島県立医科大学医学部実験動物研究施設、
2 福島県立医科大学医療-産業トランスレーショナルセンター 創薬関連部門、
- O-03 動物室内作業での身近な安全対策について
○葛西 恵未¹、本間 佐江子¹、櫻井 郁子¹、熊谷 祐樹¹、長島 一徳¹、鴻池 暁生¹、国分 芳幸¹、
横本 泰樹²
1(株)JT クリエイティブサービス秦野事業所、2 日本たばこ産業(株) 安全性研究所

管理・施設

9月27日(金) 10:35～11:10 C会場

座長 伊藤 恒賢 (山形大学)

- O-04 理・工・教育学部を対象とした動物実験施設の管理・運営
○石原 すみれ¹、高嶋 留美²、平山 晴子¹、樺木 勝巳¹
1 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門、2 東京都健康長寿医療センター研究所
- O-05 ブタを対象とした中型動物ウェットラボ技術支援サービスの立ち上げ
○矢田 範夫、平山 晴子、樺木 勝己
岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門
- O-06 東北大学における微生物モニタリングサービスについて
○吉田 弥生、末田 輝子、笠井 憲雪
東北大学動物実験センター

繁殖・発生工学

9月27日(金) 15:30～16:05 B会場

座長 清水 範彦 (旭川医科大学)

- O-07 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—体外受精—
○中牟田 裕子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-08 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—胚移植—
○竹下 由美^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-09 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—精子の凍結保存—
○福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
1 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

繁殖・発生工学**9月27日(金) 16:05～16:40 B会場**

座長 安齋 政幸 (近畿大学)

- O-10 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—帝王切開—**
○西村 愛美^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中瀧 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-11 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—胚の凍結保存—**
○近藤 朋子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中瀧 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-12 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—2細胞期胚の冷蔵輸送—**
○春口 幸恵^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中瀧 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社

繁殖・発生工学**9月27日(金) 16:40～17:15 B会場**

座長 龍門 徳彦 (株式会社 JT クリエイティブサービス)

- O-13 マウス生殖工学技術マニュアルの無料配布と web 上での公開について**
○土山 修治¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、竹尾 透¹、中瀧 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-14 CARDにおけるマウス生殖工学技術の利用—精巣上体尾部の冷蔵保存—**
○梅野 智子^{1,2}、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、古波蔵 恵里¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中瀧 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- O-15 TALENs を利用した効率的なノックアウトマウスの作製について**
○中川 佳子¹、佐久間 哲史²、黒田 和子¹、吉松 麗加¹、竹田 直樹¹、佐々木 賢一²、山本 卓²、大村谷 昌樹¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター技術開発分野、
2 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻

繁殖・発生工学**9月27日(金) 17:15～18:00 B会場**

座長 玉里 友宏 (日本チャールスリバー株式会社)

- O-16 災害時におけるマウス胚及び精子の凍結保存サービスについて**
○西尾 啓輔、笠井 憲雪
東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設
- O-17 トランスジェニックマウス作製における DNA の長さや調製方法の違いについて**
○宮地 均¹、北野 さつき¹、竹田 理恵²、今吉 格¹、生田 宏一¹
1 京都大学ウイルス研究所、2 京都大学再生医科学研究所
- O-18 ヒト医療研究用モデルザル供給ネットワークの構築**
○土屋 英明¹、中川 孝博¹、河本 育士¹、岩谷 千鶴¹、中村 紳一朗¹、山中 久²、椎名 隆³、小笠原 一誠⁴
1 滋賀医科大学動物生命科学センター、2 株式会社イナリサーチ、3 東海大学医学部、
4 滋賀医科大学医学部
- O-19 機能水(弱酸性水)の長期摂取がB6マウスの繁殖等に及ぼす影響について**
○川越 政美、小畑 孝弘、戸井田 和実、九島 秀美、柴田 淑子、池田 勝久、佐藤 政義、二部 恒美、池田 たま子、松田 幸久
秋田大学

管理・施設**9月28日(土) 9:00～9:45 G会場**

座長 上條 信一 (株式会社ライフィル)

- O-20 給水瓶飼育と自動給水飼育の相違による2世代の成長曲線と繁殖成績の比較**
○丹治 静保¹、遊佐 寿恵¹、弓田 周平²、若井 淳¹、関口 美穂¹、片平 清昭²
1 福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設、2 福島県立医科大学医療-産業 TR 部門
- O-21 給水瓶準備作業の効率化**
○内本 淳¹、青木 陽平¹、中村 由季子¹、神村 栄吉¹、橋本 憲佳¹、相沢 賢司²、浅野 雅秀¹
1 金沢大学学際科学実験センター実験動物研究施設、2 トキワ科学器械(株)
- O-22 フィルターキャップ装着下のケージ内環境の調査**
○金田 博幸、高橋 明之、千葉 薫
株式会社 JT クリエイティブサービス高槻事業所
- O-23 小動物用入れ墨器を用いたラット乳仔への個体識別法の検討**
○前野 孝之、須波 英雄、古田 匠、宮澤 佳菜、高橋 明之、千葉 薫
株式会社 JT クリエイティブサービス高槻事業所

管理・施設,その他**9月28日(土) 9:45～10:30 G会場**

座長 前田 典彦 (京都大学)

- O-24 カニクイザルの飼育管理における便性状に対する改善給餌法の検討**
○河本 育士¹、東野 祥延^{1,2}、面川 雅司¹、長谷川 健^{1,2}、中村 紳一朗¹、中川 孝博¹、土屋 英明¹
1 滋賀医科大学動物生命科学研究センター、2 株式会社ケー・エー・シー
- O-25 RCALS 飼育カニクイザルにおける血液検査基準値**
○菊池 武人¹、河本 育士²、中川 孝博²、中村 紳一朗²、土屋 英明²
1 株式会社ケー・エー・シー、2 滋賀医科大学動物生命科学研究センター
- O-26 管理作業評価制度導入による飼育室洗浄作業の改善**
○山之内 智彦¹、河本 育士²、中川 孝博²、中村 紳一朗²、土屋 英明²
1 株式会社ケー・エー・シー、2 滋賀医科大学動物生命科学研究センター
- O-27 エコンアーク出荷箱のウサギ繁殖用巣箱代用への試み**
○三田 和幸、中尾 朱花、相馬 政則、田村 広明
日本エスエルシー株式会社中伊豆支所

微生物**9月28日(土) 9:00～9:45 H会場**

座長 後藤 一雄 (帝京大学)

- O-28 付着細菌検査による各種器材の清浄度確認**
○木戸 舞¹、田口 芳枝¹、志村 友博¹、数田 裕樹²、弓場 俊輔²、大和田 一雄²
1(株)大阪ビル管理、2(独)産業技術総合研究所
- O-29 実験動物施設におけるミンケア消毒の取り組み**
○中野 昭典¹、川口 彩子¹、平田 守¹、杉浦 彰彦²、池田 卓也¹
1 日本チャールス・リバー株式会社、2 イカリ消毒株式会社
- O-30 次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウム溶液の動物飼育現場の消毒作業における殺菌力の比較**
○安岡 高清^{1,2}、大西 武志^{1,2}、田中 尚^{1,2}、池田 孝次³、田中 龍一⁴、白石 弘之¹
1 マルホ株式会社京都 R & D センター医薬開発研究所、2 株式会社ケー・エー・シー、
3 株式会社 OSG コーポレーション、4 イカリ消毒株式会社
- O-31 緑膿菌等の細菌を用いた微酸性水の殺菌・消毒効果の検証**
○小畑 孝弘、柴田 淑子、川越 政美、二部 恒美、池田 勝久、佐藤 政義、戸井田 和実、助川 康子、
池田 たま子、松田 幸久
秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター動物実験部門

O-32 メドトミジンが健康なブタの涙液分泌に及ぼす影響

○神田 鉄平¹、久山 信一²、小泉 諒太郎²、矢田 範夫³、大石 祐太郎¹、梶山 歩夢¹、西野 裕希子¹、森光 和加¹、古本 佳代⁴、前田 憲孝⁵、古川 敏紀⁵

1 倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科動物薬物治療看護学研究室、

2 ナカシマメディカル株式会社、3 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門、

4 倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科実験動物看護学研究室、

5 倉敷芸術科学大学教育動物病院

O-33 SDT-fa/fa および SDT-+/+ ラットの糖尿病発症・進展に2種の基礎飼料が及ぼす影響

○平尾 直啓、龍門 徳彦、稲葉 信博、千葉 薫

株式会社 JT クリエイティブサービス高槻事業所

O-34 デジタルX線TVシステムおよびX線CTを用いた腰抜けウサギの腰部画像解析

○若井 淳¹、遊佐 寿恵¹、片平 清昭²、関口 美穂¹

1 福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設、

2 福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

O-35 顔面静脈と腹部後大静脈からの採血による血球数の差異

○遊佐 寿恵¹、弓田 周平²、丹治 静保¹、若井 淳¹、関口 美穂¹、片平 清昭²

1 福島県立医科大学医学部附属実験動物研究施設、2 福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

O-36 人への外挿性の高い試験系を目指して(その2) -ラット及びウサギに錠剤を投与する-

○田中 勝幸、井保田 尋美、大津 尚子、山田 鉄矢、豊吉 亨、久木 浩平

株式会社日本バイオリサーチセンター羽島研究所

O-37 動物福祉を考慮したカニクイザルの馴化・条件付けによる無拘束投与・採血法の開発

○荒川 仁、北條 隆男、田辺 博、中島 敦

株式会社中外医科学研究所

管理・施設

- P-01 床敷パルマス μ の使用観察
○志村 友博¹、木戸 舞¹、田口 芳枝¹、数田 裕樹²、弓場 俊輔²、大和田 一雄²、青山 美子³
1(株)大阪ビル管理、2(独)産業技術総合研究所、3(株)天然素材探索研究所
- P-02 熊本大学生命資源研究・支援センターにおける高度生殖工学技術研修会
○古波蔵 恵里¹、福本 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、松永 寛子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、西村 愛美^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、2 九動株式会社
- P-03 日本医科大学実験動物施設における *Pasteurella pneumotropica* 感染事故と清浄化後の再感染とその後の対応
○松田 朱加¹、卯月 誠¹、佐藤 勝¹、金子 藍¹、丸野 義人¹、伊東 一昭¹、秋元 敏雄²
1 株式会社ジェー・エー・シー、2 日本医科大学実験動物管理室
- P-04 環境エンリッチメントとして使用する敷紙材の有用性について
○川勝 尚夫、瀧澤 芳夫、中村 達也、飯田 勉、石塚 広幸、佐藤 直行、平山 浩司、青山 博昭
一般財団法人残留農薬研究所毒性部
- P-05 ラットの Well-Being を満たす IVC 床敷素材の検討
○小嶋 裕子^{1,2}、中山 泰徳^{1,2}、楠 達也^{1,2}、高井 篤史^{1,2}、石川 礼文^{1,2}、中野 洋子¹
1 アステラス製薬(株)製剤研究所、2(株)ジェー・エー・シー
- P-06 動物福祉や労力削減を考慮したウサギ飼育装置の試作
○寺門 一郎¹、内田 晃¹、中村 紳一郎¹、藤原 三郎²、土屋 英明¹
1 滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、2 有限会社ラボプロダクツ
- P-07 イヌ用ケージの中動物兼用型への改造例
○片山 大輔、永井 勉、山村 睦朗、田矢 廣司、池田 雅裕
丸石製薬株式会社中央研究所
- P-08 イヌケージ用新規床網(ステンレス製、菱形格子状スノコ)の有用性について
○住川 守男、木下 亮一、掛川 晶弘、笠原 彩樹、千葉 薫
株式会社 JT クリエイティブサービス高槻事業所
- P-09 マカクザル群れ飼育ケージの新設について
○前田 典彦、森本 真弓、釜中 慶朗、岡本 宗裕
京都大学霊長類研究所人類進化モデル研究センター
- P-10 実験動物個体情報管理システムの構築
○岩谷 千鶴¹、寺門 一郎¹、中村 紳一郎¹、清水 何一²、澤藤 航³、土屋 英明¹
1 滋賀医科大学動物生命科学研究センター、2 清水実験材料株式会社、3 タイヨー電気株式会社
- P-11 コンベンショナル洗浄室における清浄度向上に対する検討
○羽根田 千江美、長尾 静子
藤田保健衛生大学疾患モデル教育研究センター
- P-12 新潟大学脳研究所動物実験施設の改修工事 ―その1 施設撤収から仮施設への移転まで―
○前田 宜俊、小田 佳奈子、酒井 清子、永田 史也、田中 稔、山本 美丘、佐藤 俊哉、藤澤 信義、横山 峯介
新潟大学脳研究所附属生命科学リソース研究センターバイオリソース研究部門動物資源開発研究分野
- P-13 新潟大学脳研究所動物実験施設の改修工事 ―その2 仮施設の運用から新施設での再立ち上げまで―
○小田 佳奈子、前田 宜俊、酒井 清子、永田 史也、田中 稔、山本 美丘、佐藤 俊哉、藤澤 信義、横山 峯介
新潟大学脳研究所附属生命科学リソース研究センターバイオリソース研究部門動物資源開発研究分野
- P-14 岡山大学自然生命研究支援センター動物資源部門鹿田施設における施設整備について
○藤井 匡寛、上山 和貴、荒川 雅行、矢田 範夫、平山 晴子、樺木 勝巳
岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門

実験手技・代替

- P-15 ラットの吸入麻酔時におけるパルスオキシメータを用いた生体モニタリング—プローブ装着部位による検討—
○桐原 由美子¹、武智 眞由美¹、黒崎 薫¹、齊藤 洋司²、小林 裕太^{1,3}
1 島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、2 島根大学医学部麻酔科学講座、
3 島根大学医学部基礎看護学講座
- P-16 覚醒ラットにおける骨格筋障害マーカーの変動に及ぼす採血法の影響
○桑野 恭子、森 和彦、玉井 聡、金原 保弘、小松 里美、後藤 真由美、井口 拓馬、鈴木 貴美、
高崎 渉
第一三共(株)安全性研究所
- P-17 マウスにおける簡便かつ安全なイソフルラン吸入麻酔法の検討
○井上 吉浩、石橋 崇、工藤 洋平
東北大学加齢医学研究所実験動物管理室
- P-18 マウス代謝実験における安定した採尿を行うためのエンリッチメントデバイスの効果
井上 吉浩、○工藤 洋平、石橋 崇
東北大学加齢医学研究所実験動物管理室
- P-19 Magnetic Resonance Imaging (MRI) を用いた腫瘍内組織液の観察
○丹澤 美貴¹、澤村 文絵¹、本田 紅里穂¹、山崎 敏和²、門内 誠¹
1 株式会社中外医科学研究所鎌倉ランチ鎌倉 vivo 実験 1 グループ、
2 中外製薬株式会社創薬薬理研究第二部
- P-20 ラットにおける麻酔深度判定のためのトレーニング法の確立
○古本 佳代、秋山 裕基、蜂谷 真以、吉川 沙耶香、古川 敏紀
倉敷芸術科学大学生命科学部生命動物科学科
- P-21 ラットにおける皮下アクセスポートを用いた肝動脈連続投与法の検討
○河原 礼史¹、延命 信吾²、田中 祥之¹
1(株) 沢井製薬生物研究部生化学グループ、2(株) ケー・エー・シー
- P-22 In vivo 消化管運動測定実験の紹介—グレリンの作用を例として—
○平山 晴子¹、樫木 勝巳¹、椎名 貴彦²、志水 泰武²
1 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門、
2 岐阜大学応用生物科学部獣医生理学研究室
- P-23 ラットを用いた背部皮下投与時における保定器の考案
○持田 隆信¹、各務 進¹、田中 翔¹、富田 久志²、坪井 優¹、田中 亮太¹、中嶋 圓¹
1 公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター、2 株式会社 アニメック
- P-24 カニクイザルを用いた経鼻胃内投与によるブドウ糖負荷試験系の検討
○佐野 肇、森 敏男、松浦 豊和、竹本 竜志、平林 学、坂本 孝子、三浦 幸仁、金子 英司
株式会社中外医科学研究所

解剖・組織・発生 育種・遺伝

- P-25 交配後 14 日経過前の雌マウスにおける輸送後の胎仔の生存状況
○山本 英明、福本 武志、山中 宏明、加藤 克彦
日本チャールス・リバー株式会社
- P-26 コモンマームセットのマイクロサテライトマーカーを用いた個体識別と父子鑑定の開発
○高林 秀次、鈴木 結子、加藤 秀樹
浜松医科大学医学部附属動物実験施設

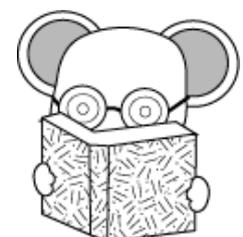
繁殖・発生工学

- P-27 ZFN 技術を用いたノックアウトマウス作製効率の検討—細胞質内への ZFN mRNA 注入による KO マウス作成効率—
○島村 優子^{1,2}、宮本 安那¹、齋藤 秀紀¹、小笠原 宏幸³、山本 好久³
1 株式会社 JT クリエイティブサービス、2 株式会社ジェー・エー・シー、
3 日本たばこ産業株式会社医薬探索研究所
- P-28 三種混合麻酔薬と拮抗薬のマウス胚移植手術への適用検討
○掛札 真未、後藤 千里、立石 浩己、保倉 智恵、渡邊 利彦、川瀬 洋介
株式会社中外医科学研究所
- P-29 野生マウス由来線維芽細胞の樹立による遺伝資源保存技術の構築
○安齋 政幸¹、松崎 ひかる^{2,5}、村井 ひとし³、中家 雅隆⁴、三谷 匡¹、宮下 実¹、細井 美彦^{1,2}
1 近畿大学先端技術総合研究所、2 近畿大学生物理工学部、3 (財) 富山市ファミリーパーク、
4 近畿大学大学院、5 森脇レディースクリニック
- P-30 体外受精に用いるマウス卵子の超低温保存方法の開発
○江藤 智生¹、神田 暁史²、上迫 努¹、外丸 祐介²
1 公益財団法人実験動物中央研究所、2 広島大学自然科学研究支援センター
- P-31 少ない精子数でも受精可能な micro IVF (微小環境体外受精) 法の確立に向けて
○長谷川 歩未¹、持田 慶司¹、小倉 淳郎^{1,2,3}
1 理化学研究所バイオリソースセンター、2 筑波大学大学院生命環境科学研究科、
3 東京大学大学院医学系研究科
- P-32 生殖工学技術の改良による野生由来マウスの系統保存
○持田 慶司、長谷川 歩未、伊集院 麻衣子、田熊 究一、高橋 仁美、阪口 真美子、橋本 美知子、
平岩 典子、目加田 和之、吉木 淳、小倉 淳郎
理化学研究所バイオリソースセンター
- P-33 マウスの人工授精に対する BMY 法の応用—人工授精のタイミングについての予備検討—
○伊藤 恒賢、尾崎 順子、大和田 一雄
山形大学医学部附属動物実験施設
- P-34 愛媛大学総合科学研究支援センター生物資源分野の生殖工学技術を用いた研究支援業務について
○眞野 彩¹、大沼 俊名¹、能丸 幸治²、奥川 健一¹、大野 一成¹、柳原 裕太¹、樺木 勝巳³、井上 和樹¹、
藤原 隆¹
1 愛媛大学総合科学研究支援センター重信ステーション生物資源分野、
2 名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター実験動物部門、
3 岡山大学自然生命化学研究支援センター動物資源部門
- P-35 国立長寿研における老化モデル動物を用いたマウスクリーン化について
○小木曾 昇¹、高野 聡美¹、六車 香織¹、佐藤 江美²、早川 朋子³、丸山 光生³
1 (独) 国立長寿医療研究センター実験動物管理室、2 (株) ケー・エー・シー、
3 (独) 国立長寿医療研究センター老化機構研究部

生理・生化学 薬理・安全性

- P-36 エンリッチメント器具が複数飼育のマウスに及ぼす影響
○黒崎 薫¹、桐原 由美子¹、武智 眞由美¹、山田 高也¹、小林 裕太^{1,2}
1 島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、2 島根大学医学部基礎看護学講座
- P-37 デキストラン硫酸ナトリウム誘発ラット潰瘍性大腸炎の検討 (その 2) —モデルの再現性と薬効評価の検討—
○美濃部 典子、堀 克彦、木村 恵人、左近上 博司
日精バイリス株式会社滋賀研究所研究部

- P-38 分子生物学手法を用いた *Entamoeba muris* の検査方法の検討
○内田 立樹^{1,2}、林元 展人¹、石田 智子¹、保田 昌彦¹、亀田 周子¹、森田 華子¹、田中 舞^{1,2}、小澤 碧^{1,2}、佐藤 梓^{1,2}
1 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、2 株式会社ジェー・エー・シー
- P-39 日本チャールス・リバー モニタリングセンターにおける受託微生物モニタリングの集計結果
○林 貴代、丸山 滋、岡島 泰夫、池田 卓也
日本チャールス・リバー株式会社
- P-40 大規模動物実験施設におけるマウスノロウイルスの汚染状況
○田島 優、鍵山 壮一郎、岡本 明、小谷 祐子
大阪大学医学部附属動物実験施設
- P-41 AKR マウスを用いたリンパ腫共発がん性試験における最適評価週齢の検索
○三谷 高司、西村 泉、根岸 正
一般財団法人電力中央研究所
- P-42 検収・検疫時におけるマウス、ラットの外観異常発生状況
○柴田 真実、榊原 和佳子、千葉 薫
株式会社 JT クリエイティブサービス高槻事業所
- P-43 小動物用 SPECT/CT イメージングシステムの性能評価及び X 線 CT によるマウス脂肪測定
○後藤 久美子^{1,4}、嶋本 雅子²、長谷川 功紀³、白石 善興¹、島崎 達也¹、尾池 雄一³、岡田 誠治⁴、野口 和浩³、古嶋 昭博¹
1 熊本大学生命資源研究・支援センター、2 熊本大学大学院医学教育部、
3 熊本大学大学院生命科学研究部、4 熊本大学エイズ学研究センター



日本実験動物技術者協会第47回総会 in 晴れの国・岡山

組織委員

大会長	武智 眞由美	島根大学研究機構総合科学研究支援センター実験動物部門
副大会長	千葉 薫	株式会社J Tクリエイティブサービス
実行委員長	小郷 哲	川崎医科大学医用生物センター
事務局長	矢田 範夫	岡山大学自然生命科学研究支援センター
実行委員	荒川 雅行	岡山大学自然生命科学研究支援センター
	石原 すみれ	岡山大学自然生命科学研究支援センター
	井上 龍太	大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設
	小川 哲平	株式会社夏目製作所
	駒田 孝文	千寿製薬株式会社
	澤浦 雅人	日本チャールス・リバー株式会社
	塩谷 恭子	国立循環器病研究センター研究所
	清水 何一	清水実験材料株式会社
	鈴木 脩斗	オリエンタル酵母工業株式会社
	攝田 友香	三協ラボサービス株式会社
	高浦 薫	アステラスリサーチテクノロジー株式会社
	田島 優	大阪大学医学部附属動物実験施設
	寺門 一郎	滋賀医科大学 動物生命科学研究センター
	富田 直子	ハムリー株式会社
	八田 耕志	日本クレア株式会社
	原 義典	株式会社大塚製薬工場
	平尾 直啓	株式会社J Tクリエイティブサービス
	三上 崇徳	川崎医科大学医用生物センター
	和田 重太郎	株式会社カネカ

(50音順)

事務局 〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門